

別記様式(第5条関係)

令和 3年 3月 26日

南国市議会議長

土居 恒夫 様

議員名

山中 良成

令和2年度政務活動費の収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり

令和2年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

令和2年度政務活動費収支報告書

議員名 山中 良成

1 収 入

政務活動費 120,000円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	67,035	行政視察経費
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費	830	資料コピー代
資 料 購 入 費		
合 計	67,865	

3 残 額 52,135円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

第 1 号様式

令和2年度 政務活動費 出納簿

議員名 山中 良成

(円)

[illegible]

※項目… 1. 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費
6. 会議費 7. 資料作成費 8. 資料購入費

第2号様式

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 山中 良成

整理 番号	1	項目	①. 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和 2 年 8 月 2 0 日 (木) ~ 令和 2 年 8 月 2 1 日 (金)				
相手方・ 調査先等	高知県若手議員の会 行政視察 「津野町の取組について」				
場 所	津野町役場 (8/20) 津野町農村体験実習館 (8/21)				
活動内容 等 (目 的、 内容、結 果、所感 等を記 入)	●行程 (8/20) 南国市=津野町=津野町農村体験実習館 1 泊 (8/21) 津野町農村体験実習館=南国市 ●面談者 津野町役場議会事務局長 津野清司、津野町役場企画調整課 仁尾、 高橋、地域おこし協力隊 小笠原、津野町役場総務課長 岡崎、津野町役場産 業課長 戸田喜博 ●調査内容等 別紙参照				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	宿泊費	宿泊代 3,850 + 夕食代 1,200		5,050	
	日 当	1,600 × 2		3,200	
	その他				
	合 計			8,250	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政務活動記録簿

高知県若手議員の会 行政視察(津野町)

①令和2年8月20日(木)

■研修①議会タブレットについて

議会タブレット導入について津野議会事務局長および大崎議長より説明があり、本市も同じドコモによるタブレット導入を考えていたので勉強になった。本市も導入に向けて進めていけないといけないが、先に会議規則などの変更内容も考えていかなければならない。

■研修②地域おこし協力隊について

企画調整課の仁尾様・高橋様より資料を基に説明していただき、現在、地域おこし協力隊として行動している小笠原様より現状報告していただいた。その後、質疑応答になったので、本市の現状説明をし、退職者数を聞く。ミッションによる募集は勉強になったので、本市でも採用されるよう一般質問するようにしたいと思う。

■研修③災害時避難対策について

岡崎総務課長より防災計画や防災行政無線等について説明があり、質疑応答に移ったので、土砂災害指定地域について質問させていただく。本市の中山間地帯および吾岡山なども土砂災害の可能性が高く、より一層、本市の市民に通知していく必要があると認識させられたので行動していきたいと思う。

■研修④車中泊訓練について

地域の応援隊「和」の西元様より新聞にも掲載された車中泊訓練について説明があった。本市でも多くの方が車中泊になる可能性が高く、本市での訓練の必要性を感じた。県外でも開催済みなので、資料等も取り寄せ、議会で質問していきたいと思う。

②令和3年8月21日(金)

■ツウクツウク等による観光について

産業課の戸田喜博課長がツウクツウクに乗車して会場に着いてから、津野町の観光について説明を受け、ツウクツウクに乗車体験する。意外と費用はかかっていないので費用対効果はあると感じることができた。本市への導入は難しいが、このように外国での観光施策を取り込んでいく視点の転換は大いに必要性を感じましたので、これを推進していきたいと思う。

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 山中 良成

整理 番号	3	項目	①調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和 2 年 1 0 月 5 日 (月) ~ 令和 2 年 1 0 月 6 日 (火)				
相手方・ 調査先等	行政視察 「地域活性化と防災について」(四万十町)				
場 所	10/5 四万十町役場・中津川集落活動センターこだま(四万十町) 10/6 四万十とまと(株)(四万十町)				
活動内容 等(目 的、 内容、結 果、所感 等を記 入)	●行程(10/5) 南国市=須崎東=四万十町役場=中津川集落活動センターこだま =美馬旅館1泊 (10/6) 四万十とまと(株)=須崎東=南国市 ●面談者 四万十町役場 議会事務局局長 長谷部卓也、四万十町役場 議会 事務局次長 三宮佳子、四万十町役場 企画課 副課長兼企画調整係長兼地域振興 係長 福留宏知、四万十町教育委員会 生涯学習課 主査 西尾洋亮、四万十町役 場 にぎわい創出課 たけい、四万十町役場 危機管理課 副課長 橋本、四万十 町議会 議長 下元昇、四万十町議会 総務常任委員長 古谷幹夫、中津川集落活 動センター「こだま」西本五十六・林こうじ、四万十とまと(株) 代表取締役 山本 喜代晴・取締役専務 佐々木貞壽・総務部部長 兼 事業開発本部 部長 内田浩 司 ●調査内容等 別紙参照				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	南国市 ~須崎東	高速代	1,300 円÷4 人	325	
	須崎東 ~南国市	高速代	1,300 円÷4 人	325	
	宿泊費	宿泊代 8,000+夕食代 1,200		9,200	
	日 当	1,600×2		3,200	
	その他				
	レンタカー代	23,540 円÷4 人		5,885	
	合 計			18,935	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政務活動記録簿

令和2年(2020年)10/5(月)10/6(火) 四万十町 行政視察

令和2年10月5日(月)13:00 司会:議会事務局次長 三宮

■四万十町議会 下元議長より挨拶。

■南国市議会議員 西本良平より挨拶。

1、集落活動センターについて

■説明:四万十町役場 企画課 副課長兼企画調整係長兼地域振興係長 福留宏知
四万十町教育委員会 生涯学習課 主査 西尾洋亮

□リーダーが必須である。変わっている人が良い。

□令和3年に3つ目の集落活動センター開設予定

□中津川集落活動センター「こだま」

なかつがわ会議で地域事業所と近隣地区で連携。 集会所がなかったので作った。
農林産物を活用した村づくり。 サロンとして活用。
過疎債を使用。県が3年の補助金が出る。 人件費補助はしていない。

□仁井田集落活動センター「仁井田井のりん家」

高齢化率:現在は42%

食事で困っている高齢者が多いので、お弁当惣菜(台所部会)を作る。

売上(約500万)からカバー。 地域おこし協力隊が支援している。

出資者20数名。この出資金を運転資金として活用。余剰金はプールされている。

後継者育成が課題。 今年度(2020年度)5年目。

□家地川集落活動センター「けやき」

家地川小学校が平成25年に廃校。

家地川小学校に海洋堂「ホビーミュージアム」建設案が出るが廃案となる。

町が実施する。宿泊施設(3年を予定)をPR・運営。地元が宿泊および料理を提供。

県の補助金:3年以降は出ない。出さない。 農業が盛ん。

ICTでインターネット予約できるように頑張っている。

ターゲット:8部屋中2部屋は長期狙い(農業担い手確保のため)。

短期狙い(外国人=短期滞在)

2、町の活性化の事例について

■説明:四万十町役場 にぎわい創出課 たけい

□商店街は地域ごと(3地区:十和・窪川・大正)に違う。

□四万十町総合振興計画を策定。

□四万十町市街地再生基本構想の新町建設計画に沿ったゾーイングを設定。

□令和2年3月 四万十町窪川地域中心市街地活性化計画を策定し、より具体化。

任意の団体 四万十地域おこし、まちあかり

協議会作成 → ワークショップ開催 → 応援団結成 → 事業実施

県の補助金:3年間 応援団:9名(若い2名、60歳代7名)

3、地震・津波対策について

■説明:四万十町役場 危機管理課 副課長 橋本

□興津地域で一体となり勉強がスタート

10~20分で津波がくる。 海岸沿いに保育所や高齢者施設があった。

小学校から疑問の声が出た → 移転

消防団の屯所を高台に移転。 800人を収容でき、生活ができる活動拠点。

- 2 年に一度、保育所や学校のグラウンドで炊き出し訓練。8 0 0 人分を準備。
- 避難誘導灯（2 0 0 万円×1 8 3 本） 目印が必要。 太陽光で充電し光る。
- 興津地区の地域の人から勉強したいと要望がある。

中学生が自ら家具固定作業を実施。 大人は、子どもの意見は受け入れてくれる可能性大。
避難表示をゴミ置き場に設置。

自主防衛団 平成 30 年度 ぼうさい甲子園に参加し、グランプリを受賞。

二次避難所マニュアルを作成。 来年度（2021）で高台整備終了。

山を削って、その土を整備に使用。土地は集まる場所。

40トンの浄水器の設置。＝常に水を入れ替えるために。今の所は4日で仕上がる予定。

4、現地視察および意見交換会（場所：中津川集落活動センター「こだま」）

14:30 頃に中津川集落活動センター「こだま」に四万十町議の古谷氏と町役場から移動。

■説明者：林こうじ、西本

- ☐びんびまつりや泥んこ運動会などのイベントについて説明。
 - ☐共生モデル協定を結ぶ。
 - ☐管理者は環境保全の為に働く。
 - ☐日曜日にモーニングを実施。(場所：農家民宿はこば)
 - ☐今年度(2020年度)に法人化予定。
 - ☐子供4名がスクールバスで登校。
 - ☐取組について情報公開している。
 - ☐Iターンが多い(人口の1割)
- Iターン者がリーダーとして活躍



令和2年10月6日(火) 14:00

1、四万十とまと(株) 視察研修

■説明者：四万十とまと(株) 専務取締役 佐々木貞壽（元ゆういんぐ四万十 社長）

- (昔)小学生 500 名 → (今) 60 名
- オランダ式を学ぶために視察費 1 億円を町および農協で負担。
町長が団長。10 日間。女性(奥様)も連れていった。
横の繋がりが強くなった。
JA 職員・町役場職員も同行。
- 施設: 県 10 億円、自己負担 3 億円。15 年償還。
- オランダ
労働基準法に関係なくよく働く。
企業間競争が激しい。
農家が品種改良している。=この取組はなかなかない。

- 目標地点を立て、知恵を絞る。

- 窪川地区は米作地。

- 柔らかいトマト → 硬いトマトへ

売上の7割が大手飲食店のサイゼリア。

デルモント・キッコーマン 関西エリアをまかなっている。

販売ルートをいくつも作っていなければならない。

売上目標 (2 億円)

従業員は四万十町へ定住。

第2号様式

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 山中 良成

整理 番号	4	項目	①調査研究費 4.広聴費	2.研修費 5.要請・陳情活動費	3.広報費 6.会議費
年 月 日	令和 2 年 1 1 月 1 2 日（木）～令和 , 2 年 1 1 月 1 3 日（金）				
相手方・ 調査先等	行政視察 「地域活性化について」（滋賀県 長浜市）				
場 所	11/12 黒壁スクエア（滋賀県長浜市） 11/13 ヤンマーミュージアム（滋賀県長浜市）				
活動内容 等（目 的、 内容、結 果、所感 等を記 入）	●行程（11/12）南国市役所＝黒壁スクエア ＝ホテルルートイン長浜インター１泊 （11/13）ホテルルートイン長浜インター＝ヤンマーミュージアム ＝南国市役所 ●面談者 ㈱黒壁 伊吹健 ●調査内容等 別紙参照				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	南国市～長浜 IC （往復）	貸切バス		25,500	
	宿泊費	宿泊代 7,650＋夕食 1,200		8,850	
	日 当	2,000×2		4,000	
	その他				
	入館料	海洋堂フィギュアミュージアム黒壁		900	
入館料	ヤンマーミュージアム		600		
	合 計		39,850		
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政務活動記録簿

行政視察（滋賀県長浜市）

同伴：平山市長・三木副市長・長野商工観光課長・上原商工観光係長

①令和2年11月12日（木）

■黒壁スクエア及び海洋堂ミュージアム視察

伊吹様より(株)黒壁の設立経緯から現状やガラス館を中心としたまちづくりを資料を基に説明していただいた。黒壁ガラス館を視察後、黒壁スクエア内にある海洋堂ミュージアムに移動し、宮脇修会長および館長より説明していただきながら、館内を視察する。ここは、若手である青年会議所メンバーが市民会議で、まちづくりを先に行い、海洋堂を誘致しており、これは本市の後免町およびものづくりサポートセンターに通じるところがある。また、海洋堂ミュージアムでは入館料を取っており、これを本市のものづくりサポートセンターに提案していく予定である。

②令和2年11月13日（金）

■ヤンマーミュージアム視察

ヤンマーミュージアム館長より館内施設を説明していただきながら、ヤンマーカードを利用した最新機器の体験をさせていただく。この施設は、最新機器を利用して子供をメインとして家族でヤンマーの歴史から取扱い製品を遊びながら学べる環境整備をしており、ものづくりに興味を持たすようにしている。これは、本市のものづくりサポートセンターにソフト面だけでも取り入れたいと考えている。また、入館料についても本市に提案していきたいと思う。